

被災地の復興に果たす「外部者」の役割と 「新しい公共」の形成



本プログラムは、第3回国際学生フォーラム(3月9日～16日、グローバル教育センター主催)との合同で行われ、海外7か国から学生を招いて実施されます。

日時: 2014年3月14日(金)10:00～17:00

場所: お茶の水女子大学共通講義棟2号館102室

問い合わせ・申し込み先:

学外の方はご所属、お名前を明記のうえ、以下にお問い合わせください。件名は「震災シンポジウム申し込み」としてください。

[グローバル文化学環 global@cc.ocha.ac.jp](mailto:global@cc.ocha.ac.jp)

◆◇◆◇◆ プログラム ◆◇◆◇◆

午前:実習参加学生からの報告

10:00～10:10

開会の挨拶・趣旨説明

10:10～11:30

実習参加学生の報告

11:30～12:10

全体討論

午後:映画上映・ゲストスピーカー講演

13:30～15:00

映画上映

小川 光一(NPO法人 桜ライン311理事,ドキュメンタリー映画制作者)講演

15:00～15:30

吉田 和子(りくカフェ主催者)講演

15:30～16:00

久保田 崇(陸前高田市副市長)講演

16:00～17:00

全体討論

《上映映画「あの街に桜が咲けば」》

岩手県陸前高田市内の津波到達点に桜を植える活動を行うNPO法人桜ライン311や、戸羽太陸前高田市市長を中心とした人物のインタビュー映像を通し、東日本大震災を経験した人間の強く生きる姿勢や命の尊さを伝えるとともに、減災意識の喚起を訴えるドキュメンタリー映画。

《ゲスト・スピーカー》

小川光一 多数のNPO/NGOに所属してドキュメンタリー映画制作や海外支援・東北支援を行う26歳。「ゴミ拾いも国際協力も一緒。ビジネスよりもボランティアよりも、何よりもまず誠実であれ」を信条に掲げている。

吉田和子 東日本大震災により、喫茶店のような地域住民が気軽に集まる場所が消滅してしまったことを受け、地域の主婦たちが主体となつてつくられた“りくカフェ”の主催者。

久保田崇 1976年静岡県生まれ。京都大学卒業後、2001年内閣府入り。2011年8月より陸前高田市副市長。著書に『官僚に学ぶ仕事術』(毎日コミュニケーションズ)ほか。